

丹精込めたすげ笠で 貴重な文化を守りたい

鹿野すげ笠を守る会



会長

村上 秀男 さん
Hideo Murakami

副会長

池本 孝行 さん
Takayuki Ikemoto



手仕事の良さが伝わるすげ笠内面

亀井公由来の特産品

鹿野町では、古くから地域で採れる「すげ」という植物を使った「すげ笠」づくりが行われ、その歴史は今から約400年前、江戸時代初期にさかのぼると言われています。

すげは稲作に向かないやせた土地にも育つことから、鹿野城主の亀井公が農家の副業として奨励したことが始まりでした。

鹿野町のすげ笠づくりは昭和30年代に最盛期を迎え、当時、約250人が従事。年間

何万枚も生産されたすげ笠は、海外にまで輸出されるなど、鹿野町の一大産業でした。しかしその後、ビニール製品の普及とともに需要は減少し衰退していきました。

生活の中のすげ笠づくり

鹿野町で生まれ育った村上さんは、子どものころ、一家が総出ですげ笠づくりをしていたことを覚えています。成人し会社勤めを始めた後は、直接すげ笠づくりに関わることはありませんでしたが、両親や祖父母とともにすげ笠

は、いつも生活の中にあっただけです。

その後、鹿野町のすげ笠づくりが衰退し、地域の文化が失われていくことをさびしく感じながらも、せめて親から引き継いだ「すげ田」だけは荒らしたくない、いつかは自分もすげ笠づくりに挑戦してみたいと思いつけてきました。

技術の伝承を

長年、鹿野町で理髪店を営んでいた池本さんも地元で生まれ育ちました。息子にお店を譲り、晴れて隠居の身とな

るところ、「理髪店主は手先が器用だろう」と村上さんに誘われ、平成21年3月に地元の有志約20人で「鹿野すげ笠を守る会」を設立。失われつつあった鹿野町のすげ笠文化を守り伝えていきます。

毎月第2土曜日に山根町集会所で開催される講習会では、持ち前のチャレンジ精神で会を引っ張り、後輩の指導に力を入れます。お客さんの注文に応えるためには、時には厳しく、時にはやさしく、「憎まれ役」も引き受けるそうです。

《5月の番組ガイド》

.....鳥取市行政番組.....

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【特集】

- ▷鳥取砂丘ジオパーク
- ▷障がい者福祉週間、ふれあい広場
- ▷市民税課からのお知らせ
軽自動車税がコンビニで納付できます
- ▷今年度の主な事業



昨年の「ふれあい広場」

静止画文字情報

『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週日・月・水・木



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばびよんびよんネット

.....自主制作番組.....

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

田植えの様子や特産の二十世紀梨の摘果・小袋掛けなど、市内各地の農作業の様子をお送りします。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

小学生の新一年生と地域住民との交流行事や、児童生徒の農業体験などをお伝えします。

生活情報番組『びよんびよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介いたします。

鳥取市コミュニティデータ放送が始まりました！

鳥取市の行政情報や地域情報など生活に密着した情報が、地デジテレビやSTBなどのリモコンを操作することで、ご家庭のテレビで手軽にご覧いただける「鳥取市コミュニティデータ放送」がスタートしました。操作方法など詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

情報をお寄せください！

いなばびよんびよんネット ☎ 0857-22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。番組の放送時間は、ホームページまたはデジタル放送の電子番組表 (EPG) をご覧ください。

<http://www.inabapyonpyon.net>



技術伝承の場となっている毎月第2土曜日の講習会

すげ笠は、乾燥すると風通しがよく、湿気を帯びると繊維が膨らんで目がしまり、雨水などを通さない性質があります。このことから、日本の気候風土に適した天然素材の実用品として、主に野外作業で重宝されています。

軽くて丈夫な実用品

最近では船頭さんや魚釣りをする人が買われ、手入れを怠らなければ10年以上は使えるそうです。

鹿野町のすげ笠のサイズはすべてインチ表示。これは、海外に輸出していたころの名残だそうで、最盛期には、アメリカ西海岸のビーチで鹿野のすげ笠が流行したとのこと。「砂丘笠」との呼び名があるのもその由縁かもしれません。

後継者の育成と交流で文化の伝承を

鹿野すげ笠を守る会では、

地域の子どもたちにもすげ笠の魅力をもっと知ってもらおうと、小学生に指導したり、中学校の総合学習で、取り組みだりしてきました。

今後は、定年退職した「若い人」にも積極的に声をかけ、会に参加してもらおうよう働きかけたり、同様に後継者問題を抱える佐治町の板笠や、市内各地で活動する、みのやわら草履を作るグループなど交流したり、活動の幅を広げたいとのこと。

また、平成20年に大阪市東成区で、平松大阪市長と竹内

市長がすげ笠をテーマに交流したこと、さらには、県内外との交流も活発にしたい意気込み。

さらに、4月にオープンした鳥取市公式インターネットショップ「とっとり市」にも出展し、販路を広げるとともに、知名度の向上に努めていくことにしています。

城下町の風情と歴史の薫りがまちのあちこちに感じられる鹿野町で生まれ育った2人の熱い想いにより、400年のすげ笠の伝統が復活。これからも悠久の時空を超えて、引き継がれていくことでしょう。